

純正ミラー交換タイプ  
2カメラ同時録画ドライブレコーダー機能付  
8.88インチ デジタルスマートルームミラー  
【取付説明書】 SMDR-A001

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。なお、お読みになった後も大切に保管してください。



■お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、「取扱説明書」「取付説明書」をよくお読みの上、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。
- 取り付け前にデジタルスマートルームミラーの取り付け可能な車種をご確認ください。記載した取り付け可能な車種でも一部装着できないことがあります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

取付説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。

- ⊘ **禁止** してはいけない内容です。 | ⚠ **実行** しなければならない内容です。

⚠ **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定される内容を示します。

- ⊘ 本機はDC12Vマイナスアース専用です。大型トラックや冷却地仕様ディーゼル車などの24V車での使用はしないでください。火災や事故の原因となります。
- ⚠ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- ⚠ 車体に穴をあけて取り付けの場合は、注意して作業を行ってください。車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ⚠ ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- ⊘ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- ⊘ 画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ⚠ 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ⊘ エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバック動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際に、エアバックシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- ⊘ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対止めてください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ⊘ 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ⚠ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- ⚠ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変なにおいがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ⊘ 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁テープ等で絶縁してください。ショートにより、火災、感電の原因となります。
- ⊘ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングソフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつく事故の原因となり危険です。

⚠ **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される内容を示します。

- ⚠ 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- ⊘ しっかりと固定できないところや振動の多いところやリアウィンドウに張り巡らされた熱線への取り付けは避けてください。本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- ⊘ 湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入すると、発煙や発火、故障の原因となります。
- ⊘ コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ⊘ コード類を決して途中で切断しないでください。コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

■付属品

 本体	 電源ケーブル	 取付ステー/固定ネジ	 配線カバー
 フロントカメラ	 リアカメラ	 リアカメラ接続ケーブル	 サイドカメラ
 サイドカメラ接続ケーブル	 リアカメラ接続ケーブル	 ホールソー	 取付説明書

- 本書で使用している写真は、実際の製品と異なる場合があります。
- 本機の外觀は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

取付方法

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付け前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー(プラス、マイナス、星形T20)、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

■作業の進め方

1. 同梱物を確認する(→■付属品)
2. 本取付前に動作確認する(→■本体の動作確認)
3. ミラー本体を取り付ける(→■本体の取付)
4. 本体と各ケーブルを接続する(→■配線方法)
5. リアカメラを取り付ける(→■リアカメラの設置)
6. サイドカメラを取り付ける(→■サイドカメラの設置)
7. バッテリーのマイナス端子を元に戻す
8. カメラ角度を微調整する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

1. バッテリーのマイナス端子を外す。
2. 本体に電源ケーブル、リアカメラ、サイドカメラ、フロントカメラを接続する。
3. 電源ケーブルのACC、BATTをヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
4. microSDカードを装着する。※1、※2
5. 動作確認する(フロント・リア・サイドカメラ録画、GPS) ※3、※4
6. 電源OFFする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。

- ※1. microSDはClass10以上、128GBまでのカードをご利用ください。
- ※2. SDカードは本体でフォーマットを行ってください。
- ※3. 録画中は設定操作できません。録画停止してから設定を行ってください。
- ※4. GPSは受信できる屋外で行ってください。またGPSは接続後、受信中表示するまで5分間以上かかる場合があります。

**マイナス端子を外す際の注意**

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

■本体の取付(例:ウェッジマウントタイプ)

- 1 純正ミラーを根元から外します。

- ムラカミ社製の場合  
ルームミラーのベースカバーを上下から押し、側面のツメを左右に広げるようにしてカバーをベースから外します。純正アームの下部に付いているレバーを起しながら上に引き上げ、アームを取り外して下さい。
- マツダ車の場合  
純正ミラーの後ろ側から細い丸棒等を差し込みスプリングのロックを外し、ミラーを上へ引き抜いて下さい。
- トルクスネジの場合  
星形のトルクスネジで固定されている場合はT-20のトルクスレンチを入手し、ネジを緩めアームを外して下さい。



※フロントガラスを傷つけないように慎重に力を入れてください。  
※外し方が判らない場合はディーラーへお問い合わせください。

- 2 デジタルスマートルームミラー本体のネジを外します。デジタルスマートルームミラー本体に取付ステーを取り付け、外したネジを差し込み固定します。

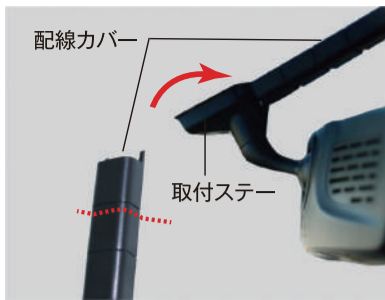


- 3 取付ステーをウェッジマウントに差し込み、固定ネジを固定します。

- ※車種によって取付方法が異なります。
- ※マウントボタンの上から滑り込ませ完全に挿し込んでください。
- ※取付ステーの固定ネジを1.5~2.0Nmの締め付けて固定してください。

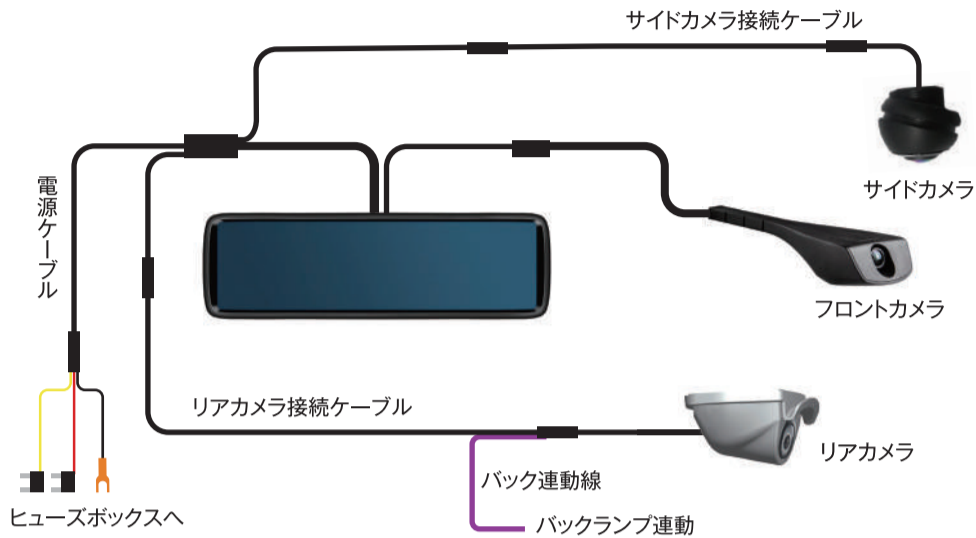
裏面へつづく→

4 配線カバーをご利用の場合は、車両に合わせ適宜切り落とし長さを調整して、取付ステーに取り付けます。



### ■配線イメージ

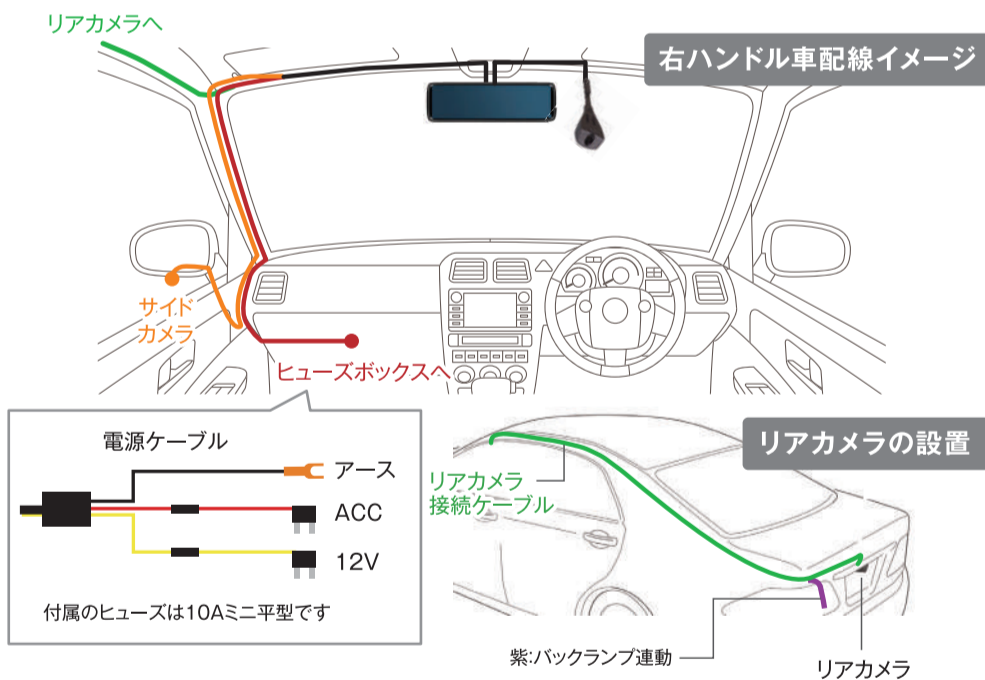
ケーブルに各場所の名称入りのタグが付いています。同じ名称同士のコネクタを接続してください。



### ■配線方法

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。サイドカメラは左ハンドル車による右サイドミラーへの設置も可能です。

- 1 本体から出ているコネクタに、電源ケーブル・各カメラ接続ケーブルをカチッとロックがかかるまで挿入します。  
※コネクタの名称、矢印方向(向き)をご確認の上、奥までさしてください。  
無理に接続すると中のピンが曲がってしまい、動作不良の原因になります。
- 2 ケーブルをルーファイニング内に押し込みます。  
ルーファイニング、フロントサイドピラーライニング内を通して、電源ケーブルをヒューズボックスまで、引き回します。
- 3 電源ケーブルをヒューズボックス内の対応するヒューズに差し込み、アースを接続します。
- 4 サイドカメラ接続ケーブルをドアミラー内まで通しサイドカメラに接続、同様にリアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通し、リアカメラに接続します。



### ■フロントカメラの設置



- 1 フロントカメラの取り付け位置を決める。  
**取付推奨範囲**  
フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内または運転者の前方視界を妨げない位置(ルームミラーで隠れる位置など)にしてください。  
●国土交通省の定める保安基準※に適合するように取り付けてください。  
※保安基準:道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)
- 2 取付ステーを付けずに、フロントカメラを取り付け位置に仮置きし、「ADAS設定」アプリを開いて、「調整」画面を見ながら取り付け角度を調整する。  
**角度調整の仕方**  
フロントカメラ後部にあるカバーを開けて、内にあるネジ1本でカメラの角度調整をします。角度調整が終わってからドライバーでネジを締めてください。
- 3 決めた取り付け位置の表面をきれいにしてください。取付ステーの両面テープのはくりフィルムをはがしてフロントガラスに貼り付けるから、フロントカメラを挿し込みます。

※セーフティセンサー車はセンサーボックスに干渉されない両サイドに設置ください。

### ■サイドカメラの設置

下記設置手順は一例です。車種により設置方法は異なります。

- 1 マイナスイライバーなどでミラーカバーとミラーを外します。
- 2 ミラー鏡面可動スペースを避け、カメラ穴開け位置をマーキングします。
- 3 ドアトリムを外し、ドアミラーを外します。
- 4 ホールソーをドリルにセットして穴を開けます。
- 5 サイドカメラを穴に差し込みます。しっかり固定できるようにマウンドの角度で微調整してください。
- 6 サイドカメラケーブルは純正配線と同じように通します。
- 7 マウンド角度調節  
角度はマウンドで微調整してください。  
7° 17° 27°

### ■取付時のご注意

1. 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けください。
2. ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
3. 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
4. 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
5. 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
6. 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
7. 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
8. 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
9. 本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
10. 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディと接触するとショートします。
11. リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。

当製品の【取扱説明書】はMAXWINホームページにあります。  
下記のURLから【SMDR-A001 取扱説明書】をダウンロードしてご覧ください

[https://www.maxwin.jp/content/dvr\\_detail.html](https://www.maxwin.jp/content/dvr_detail.html)

### 保証書

本書は製品購入日から本書に定める保障期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

#### 【無償修理規定】

1. 取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償修理致します。  
●無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼下さい。
2. 保証期間内でも次のような場合には有料になります。  
●使用上の誤り及び過失による故障及び損害。  
●分解、改造及び保証シール破れる場合。  
●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、嵐害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)などによる故障及び損害。  
●購入後の移動、落下或いは運送などによる故障及び損害。  
●本保証書のご提示がない場合。  
●本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入のない場合、或いは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合。  
●消耗品、付属品などの交換による故障及び損害。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本書は日本国内のみ有効です。
5. 本書は再発行致しません。大切に保管してください。

お客様名	機種名	SMDR-A001
ご購入日	保証期間	ご購入日より 1年間
購入販売店名、住所、電話番号		
保証印無き場合は無効です。		

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。  
※本書の著作権は昌騰有限公司に帰属します。無断複製、引用は固く禁じます。